

藤沢自治会の皆さんとの意見交換の場

議会広聴委員会が初の取り組み

町民の皆さんの生の声、率直な思いを議会や町政に反映させようと議会広聴委員会では、今年度、初めての取り組みとして、自治会単位での意見交換を各自治会長に呼びかけ、応募いただいた自治会と順次、意見交換の場を開催します。

今回は、皮切りとなった藤沢自治会の皆さんとの意見交換の内容をお知らせします。

1、開催概要

日 時	平成 30 年 6 月 24 日(日) 18:00~18:50
場 所	藤沢自治会館
参加者	藤沢自治会 16 人、議長、議会広聴委員会(5 人)
テーマ	空き家問題について 藤沢地区でも高齢化が進み、空き家が増加してきている。町として空き家問題に関してどのような取り組みをしているのか。
議長あいさつ	議会基本条例に基づき、広聴委員会が作られた。これからは議会のほうから町民に直接出向いていって、町民のいろいろな意見を聞いて、それを町政に反映させていくという取り組みをしているところ。地区の話ということで活発な意見をいただきたい。
自治会長あいさつ	自分たちが何を悩み、何を改善してほしいかということを経営員にぶつけてみることもいいだろう。ということでこうした場を持った。 空き家については、藤沢も高齢化が着実に進み、ここ 1・2 年でも、2 軒、3 軒ぽつぽつと空き家が増え、今現在、6 軒ほど空き家がある。高齢化に伴い、山車の運行がこのままいって運行できなくなることが、目に見えてきている。新規就農者が 2 軒入り積極的に協力してもらっているが、空き家だらけになると防犯上などいろいろな問題が出てくる。議会としても方策を考えてもらいたいと話題として出した。忌憚のない意見を伝えてほしい。
委員会から 報 告	町の取組状況について(配布資料) <ul style="list-style-type: none">● 中井町空家調査報告書(平成 28 年 3 月)の概要● 空き家バンク制度● 子育て・若年夫婦世帯空き家改修事業補助金● 三世代同居等推進事業補助金

2、意見交換

① テーマ・空き家問題について

	発言(質問・意見)	応 答
1	町に人が少なくなって、空き家バンクはいい制度だと思う。町はもっと PR すべきだと思うが、交渉・契約を当事者同士で行なうのはどうなのか。	町は空き家物件のあっせんや売買・賃貸借の仲介は行っていない。
2	町が空き家などの物件を借り上げて貸すというのもあると思うが、現在のシステム(空き家バンク制度)では利用実績があがらない。	今の補助制度は、取得のみが対象で、賃貸までは対象になっていない。
3	1年間で人口が100人減っている。もっときめ細やかなことをやらないと増えない	ひとつひとつ違うケースに町がどう柔軟に関わるかは、まだまだ工夫が必要。

② その他の意見交換

	発言(質問・意見)	応 答
1	市街化区域に戸建住宅が増え、ゴミの集積所に収集ボックスの増設を町に要望したが、現在製作していないとのことで、ネット状のものしかなかった。	町へ確認 答 収集ボックスは重く、蓋の開閉に危険が伴うこともあり新たな作製はしていない。新規の場合はネットで対応願っている。
2	町の避難所宿泊訓練に参加し、いい経験ができた。元気なお年寄りが、災害時を含めて行政の活動の一環となるような、そうした組織化を検討してもらったらどうか。	災害後、職員が通常業務に戻るので、誰かがやらなければならない。元気なお年寄りの協力も含め、避難所運営について考えていきたい。

	発言(質問・意見)	応 答
3	災害時の飲料水が不足することはないのか。	<p>町へ確認</p> <p>答 一人あたり 1日3リットル×3日×1万人分の飲料水を確保している。発災から4日後には復旧できる体制をとっている。</p>
4	オンデマンドバスは駅に乗り入れられないまま。高齢化が進み免許証がなくなればどうなるのか。	町は既存のバス路線を存続させたい。痛し痒しのところがある。